

いしかわ

NPO

【特集】
石川県NPO活動支援センター
基本計画

ニュース

●INFORMATION
石川県からのお知らせ
NPO・ボランティア情報
助成金ニュース

●実践講座

●リーダーズVOICE

ひまわり友の会 押切 幸子さん

INTERVIEW
リーダーズ
VOICE
2

石川県内には数多くのNPOが活動しています。当コーナーでは、県内のNPOのリーダーをシリーズでインタビューし、運営上の特色や現状などについて紹介します。今回は、精神障害者の小規模作業所を支援する、ひまわり友の会の代表、押切幸子さんにお話をうかがいました。

「ボランティアを続けていく中で、 いい人、いい仲間に出会えるのが喜び」

ひまわり友の会代表 押切 幸子さん

精神障害者に対する理解を多く の人に深めてもらう

——ひまわり友の会は、どのようなグループなんですか。

押切 津幡町に「ひまわり共同作業所」という精神障害者のための小規模作業所があるんですが、その運営を支え、お手伝いしています。

——会員の数は。

押切 71人です。皆、河北郡内の人ばかりで、男性は8人います。会員の多くは、石川中央保健福祉センター河北地域センターが平成2年から実施しているメンタルヘルスボランティア講座の受講生です。

——活動はいつから。

押切 平成2年の9月にひまわり共同作業所が開設されてからですね。規約を作って自主的な会となったのは、平成6年の12月です。

——具体的にどのような活動をされているんですか。

押切 春のグラウンドゴルフ大会、冬のもちつき大会といった、ひまわり共同作業所内でのイベントがあるときにお手伝いをするほか、精神障害者に対する理解を多くの人に深めてもらうため、講演会などを開催したりしています。

——「ひまわりたわし」というものを作って販売しているそうですね。

押切 ええ、そうです。アクリルの毛糸で編んだたわしを使うと洗剤を使わなくても、食器などの洗い物ができます。洗剤を使わないから環境にもやさしいんですよ。会

員がひまわりの形に似せて編んだ使い捨てのたわしを町内でイベントが催される時などに1袋150円で販売しています。ナイロン袋への袋詰めは、有料で作業所のメンバーにやってもらっています。収益は友の会の運営費になっています。友の会の会員でない方にも、たわしを編むのを手伝ってくれて、そんな人の心と気持ちが本当にうれしいですね。

会のNPO法人化も将来的な目標 のひとつ

——ご苦労とかありませんか。

押切 苦労を苦労と思わないたちなので別に(笑)。こういうことを始めたのも、人の世話をすることが好きだからなんです。自分が健康で、家族の理解があるからこそできることなんですけどね。

——活動の中で、特にどういった点にやりがいを感じますか。

押切 やっぱ、いい人、いい仲間に出会えたときですね。ボランティアをずっとやってきて、「幸せやな」と感じられるんです。この10年の間に精神障害者に対する社会全体の理解が深まってきている点もうれしいですね。

——会としての今後の目標はありますか。

押切 共同作業所の社会福祉法人化支援と、私たち自身のNPO法人化です。これからいろいろ勉強していきたいなと思っていて、県のNPO活動支援センターができたらいろいろ教えていただきたいなと期待しているんですよ。

——ありがとうございました。

P R O F I T L E



昨年9月に、ひまわり共同作業所開設10周年感謝のつどいが開催され、友の会でセレモニーや講演会のお手伝いをした。

押切 幸子さん

(おしきり さちこ)

津幡町在住。地区の婦人会会長や民生委員なども務めた、地域の世話役的存在。平成2年に津幡町の石川中央保健福祉センター河北地域センターが開いたメンタルヘルスボランティア講座を受講し、ひまわり共同作業所の支援のボランティアに取り組むことに。ひまわり友の会も同年結成され、押切さんがずっと代表を務めている。

【お問い合わせ】 ひまわり友の会

石川中央保健福祉センター河北地域センター内 TEL076(289)2177

※この冊子は再生紙を使用しております。



石川県

URL <http://www.pref.ishikawa.jp/kenmin/volunteer/>

地域や分野を超えた 市民活動のネットワーク ステーションです。

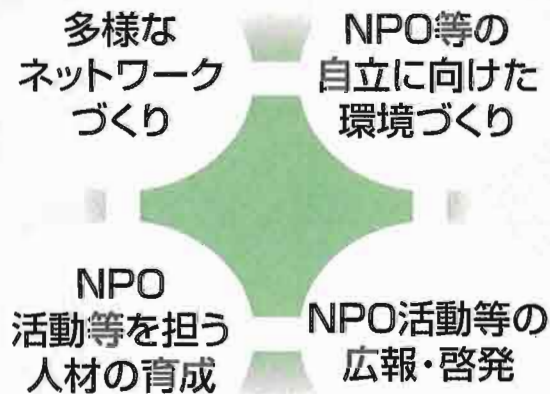
NPO活動支援センターの基本計画策定作業が去る1月に完了しました。その概要は、以下のとおりですが、NPO活動やボランティア活動など、県民のみなさんの自主的・主体的な活動を支援するためのセンターとして、今年夏頃までに県庁舎南分室(金沢市広坂1丁目)に設置する予定です。地域や分野にかかわらず、市民活動を行っている人、市民活動に関心のある人ならどなたでもご利用いただけます。みなさんの交流や情報交換などの場としてご活用ください。

〈基本計画の概要〉

基本コンセプトと支援の考え方



基本的役割



設置及び設備の内容

- ① 施設
活動スペースと事務局スペースは、互いにオープンとなるよう配慮するものとします。活動スペースは、機能が十分果たせるようなゾーニングとし、できるかぎりバリアフリーや利用者のアメニティにも配慮するものとします。
- ② 設備
事務室のほか次の各コーナーを設置し、必要な設備を備えます。
情報提供コーナー／交流コーナー／パソコンコーナー
作業コーナー／会議コーナー／受付・相談コーナー

運営に関する基本的考え方

- ① 運営方法
運営にあたっては、NPO等との連携・協働に配慮するものとし、運営の方向性や事業の内容について、NPO等や市民の参加による運営協議会を設け、利用者の意見を聞きつつ、必要な事項を決定していくものとします。運営協議会の立ち上げにあたっては、運営協議会設立準備会を組織し、設置に必要なルールづくりやメンバーの人選について検討を行います。
- ② 利用に関するルール
県施設としての基本的なルールのほかは、運営協議会で決定することを原則とします。

主要機能及び主要事業

交流・ネットワーク機能 分野、地域、組織形態等を超えて交流が行えるような、場や仕組みを提供するとともに、交流促進のための事業を展開します。 (事業例) 交流サロンの設置、情報ネットワークシステムの整備、メールボックスの設置、交流会等の開催	情報収集・提供機能 NPO活動等に関する情報収集、提供の拠点とします。 (事業例) データベースの構築、インターネット利用に関する研修会の開催、情報誌の発行、図書・資料の収集・貸し出し	活動の場の提供機能 会議室やコピー、印刷機が、使える作業コーナーなどのスペースや機器を整備します。	相談・コーディネート機能 NPO活動に豊富な経験を有する者等の相談員を配置する。また、活動参加希望者やサービス利用希望者、事業委託を推進するための企業・行政へのNPO等の紹介などのコーディネートを行います。
資金調達支援機能 企業等の資金助成情報の提供を行うなど、資金調達を側面的に支援します。	人材育成機能 専門性の高い技術・ノウハウを修得できるよう、学習や研修機会の提供などを行う。 (事業例) マネジメント講座、公開講座等の開催	調査・研究機能 NPO活動等に関する知識・ノウハウを体系的・専門的に蓄積し、事業評価手法・活動評価、各種研修や講習プログラムなどの研究を行います。	広報・啓発機能 NPO活動等に関する県民への広報を積極的に行い、啓発を推進します。 (事業例) シンポジウム等の開催、リーフレット等の作成・配付

- ③ 開館日及び開館時間
週1回の休館日及び年末年始を除き原則開館するものとし、夜間の利用にも配慮するものとします。

INFORMATION

石川県からのお知らせ

<平成13年度当初予算におけるNPO活動促進関連事業>

NPO活動支援センターの設置

1月に策定した「NPO支援センター基本計画」に基づき、本年夏頃までに、県庁舎南分室(金沢市広坂1丁目7-1)の2階に「石川県NPO活動支援センター」を設置します。

情報提供、交流、パソコン、印刷等の作業、会議、相談の各コーナーを設けるとともに、様々な情報をインターネットで提供するシステムを構築することとしています。さらに、情報データベースの作成などによる、より高度なサービスの提供を予定しており、ハードとソフトの両面でNPO、ボランティアグループをはじめ県民のみなさんに利用していただけるようにしてまいりたいと考えています。

センターの運営については、NPO関係者等で構成する運営協議会を設け、その意見を聞きながら、NPOのみなさんのニーズに合ったものにしてまいりたいと考えており、4月中旬に運営協議会の設立準備会を開催する予定にしています。

また、オープニングイベントとして記念講演会の開催を予定していますので、是非ご参加ください。

フォーラム等の開催

県民のみなさんにNPO活動等についての理解を深めていただくための「NPO・市民活動シンポジウム」、NPO相互や行政、企業とのネットワーク形成のきっかけとなるような「NPOフォーラム」を開催します。シンポジウムについては夏頃、フォーラムについては秋頃に開催する予定です。

また、各々の企画運営については、NPOのみなさんとの協働により実施してまいりたいと考えています。

NPOマネジメント講座の開催

これからのNPOの運営や活動を担う人材の育成を目的に、NPO運営に関するノウハウを学習していただくための講座を開催します。

開催にあたっては、NPOのみなさんのノウハウやアイデアを生かし、実効あるものとするため、NPOのみなさんに企画を公募する予定にしています。

いしかわNPOニュースの発行

本誌を季刊で発行します。活字による情報収集、提供媒体として、引き続きご利用ください。

石川県民文化局県民交流課NPO推進室
お問い合わせ先 TEL076-223-9113 FAX076-223-9474
担当 中村

NPO・ボランティア情報

第1回「北陸移動サービスネットワーク研修会」開催要項

- 日時/平成13年4月15日(日) 10:30~16:00
- 会場/石川県地場産業振興センター 本館 第2研修室(2階)
〒920-0223 金沢市戸水町イ80番地
TEL076-268-2010
- 主催/北陸移動サービスネットワーク
世話人(特定) 自立生活支援センター富山
ふくい愛の実行運動の会
(特定) 自立生活センターハートいしかわ
日本財団

10:30	開会 第1部 基調講演 テーマ 「障害のある人のモビリティ確保の過去・現在・未来」 講師 秋山哲男氏 東京都立大学大学院助教授
12:00	昼食・休憩
13:00	第2部 テーマ 「私達にも出来る移動・移送サービス」 日本財団作成の入門テキストの紹介と質疑応答 講師 日本財団担当者
13:50	休憩
14:00	第3部 ボランティア移動サービスの基礎講座 移動サービス団体が抱える様々な問題について意見交換を行います。 問題提起者/民間移動サービス事業者 移動サービスを行う市民活動団体 社会福祉協議会 移動サービス担当者 (特定)三美会 事務局長 瀧内 寛満氏 ぼととファームグループ代表 佐野 武和氏 芦原町社会福祉協議会 平田 豪氏
16:00	閉会

- 参加対象/障害者・高齢者の生活支援並びに移動支援に関係し、興味のある方
- 参加費/500円(資料代等)
- 参加申込/4月7日(土)まで

北陸移動サービスネットワーク事務局
〒921-8021 金沢市御影町8番32号
(特定) 自立生活センターハートいしかわ
TEL/FAX (076) 242-1172

お問い合わせ先

第18回全国都市緑化いしかわフェア 夢みどりいしかわ2001 ボランティア募集

①花緑ボランティア

花がらつみ・水やり・落ち葉拾いなど、会場内花壇の手入れや、花緑案内サービスの補助等を行っていただきます。専門のスタッフが直接ご指導いたします。

②サービスボランティア

会場内で貸し出す車椅子・ベビーカーなどの貸し出しの補助や、急勾配箇所での車椅子利用者等の介助を行っていただきます。また、外国語や手話がができる方には、状況に応じて対応を行っていただく場合もあります。

- 活動場所/金沢城址会場(金沢城址公園)
- 活動期間/平成13年9月8日(土)から11月11日(日)まで
- 活動時間/平成13年10月15日まで 午前9時~午後5時30分
平成13年10月16日から 午前9時~午後5時
※終了時間は活動の種類によって多少異なる場合があります。
- 応募資格/期間中、原則として4日以上参加できる方
活動日に終日参加できる方
事前説明会[8月18日(土)19日(日)を予定]にいずれか1日参加できる方
小学生以上の方
※年齢に制限はありませんが、中学生以下の方は保護者同伴での参加をお願いします。
※会場内に駐車場の用意がございません。公共交通機関等での参加をお願いします。
- 応募期間/平成13年4月2日(月)から6月29日(金)まで(当日消印有効)
- 応募方法/ボランティア参加申込書(コピー可)に必要事項をご記入の上、郵送またはファクシミリにて、下記までお申し込みください。
- 日程通知/参加希望種類、参加希望日、及び1日の参加定員をもとに参加日程の調整を行い、8月中旬(予定)にご通知します。
※原則としてご応募いただいた方全員に参加していただきますが、参加内容や参加日がご希望にそえない場合がございます。予めご了承ください。
- その他/ボランティア専用ユニフォームをお渡しします。
一定額の活動費(交通費・昼食費相当)をお渡しします。
実行委員会が傷害保険に加入いたします。

〒920-8557 金沢市本多町3丁目1番10号
石川県社会福祉協議会内
石川県ボランティアセンター 緑化フェア係
TEL076-234-1616 FAX076-222-8900
[受付時間:午前9時~午後5時(土・日・祝日を除く)]

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号
第18回全国都市緑化いしかわフェア実行委員会事務局
TEL076-261-1512 FAX076-261-0505
[受付時間:午前9時~午後5時(土・日・祝日を除く)]

まちづくり学習をサポートしてみませんか?

石川県では住民参加のまちづくりに向けて、21世紀を担う子どもたちに早い段階からまちづくりに関心を持ってもらうために、県内各地で様々なまちづくり学習活動を展開しています。

これまでも、県や市町村、(財)いしかわまちづくりセンターにおいては、まちづくり団体等と協力しながら、『まち再発見フォトラリー』や『子どもまちづくりフォーラム』、まちづくり読本を使った『子どもまちづくり塾』などを開催してきました。

お問い合わせ先

そこで、本年度も引き続き学校や地域において、まちづくりワークショップなどのまちづくり学習活動を実施する際にお手伝いいただけるNPOやまちづくり団体などを募集しております。是非興味のある方は下記までご連絡ください。お待ちしております。

(財)いしかわまちづくりセンター
お問い合わせ先 金沢市広坂2丁目1番1号 新館4F
TEL076-223-9448 FAX076-223-0161

助成金ニュース

【NHK厚生文化事業団 わかば基金助成】

- 対象分野/地域で活発な福祉活動を進めているグループ。
- 支援金額/1グループ30~70万円、約20グループの支援予定。
- 募集時期/5月上旬~6月30日(土)必着 ※詳細は下記まで

社会福祉法人NHK厚生文化事業団
〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14
第三共同ビル
お問い合わせ先 TEL03-3481-7855 FAX03-3481-7674
URL <http://www.npwo.or.jp/>

【安田火災記念財団 社会福祉(NPO法人設立資金)助成】

- 対象分野/社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体。(平成13年度中に設立認証申請を行うことが原則)
- 活動内容/障害者、高齢者の主として在宅福祉に関する活動。
- 助成金額/1団体 30万円。(総額は未定)
- 資金用途/法人設立に関する費用であれば使途は問わない。
- 締め切り/平成13年4月16日(月)(当日消印有効)
- 申込方法/所定の申込書に記載の上、下記へ郵送。
※申込書は、ホームページからも印刷可。

財団法人安田火災記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL03-3349-3130 FAX03-3349-3133
ホームページ <http://www.yasuda.co.jp/foundation/index.html>

【キリン福祉財団 社会福祉助成】

- 対象/福祉を目的とする民間団体。(法人格の有無は問わない)
- 活動内容/ボランティア国際年記念公募「地域における子育て支援ボランティア活動(子どもの対象年齢:中学生以下)」
(例)・母親(父親)たちによる子育てボランティア活動
・子育てボランティア地域支援ネットワーク活動
・放課後の児童育成ボランティア活動
・子どもの遊び場(機会)づくりボランティア活動
・地域でのまち探検、まち遊び、まちづくりボランティア活動
・高齢者、障害者とのふれあいを通じての子育てボランティア活動
- 助成金額/総額2,000万円(1件当たりの上限100万円)
- 申込受付期間/平成13年4月2日(月)~5月31日(木)(当日消印有効)
- 申込方法/所定の申込用紙に記入の上、添付書類とともに下記へ郵送。

財団法人 キリン福祉財団事務局
〒104-8288 東京都中央区新川2丁目10番1号
TEL03-5540-3522 FAX03-5540-3525
ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

お問い合わせ先

**【アジア女性基金 女性の権利に関する今日的
問題に取り組むNGO活動支援】**

- 対象となる事業及び要件／
 - (1)女性に対する暴力など女性の基本的権利の尊重に関わる事業（講演会の開催等）
 - (2)被害者等を含む女性の自立につながる支援についての啓発パンフレットの作成等
 - (3)女性に対する暴力や人権侵害の被害者への支援の広報・啓発用資料の作成等
 - ※ただし、他の団体等への資金の補助、支援等を内容とする事業は対象にならない。
 - 支援金額／
 - (1)広報活動への支援…10万円～100万円
 - (2)女性の自立支援…50万円～500万円
 - 申込期間／4月1日～4月27日（金）必着
 - 申込方法／所定の書式に記入の上、見積書など必要な資料を添付し下記へ郵送。
※申込書は、ホームページからも印刷可。
- 申込 公益信託 アジア女性基金（アジア女性基金）
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-42
赤坂アネックス4F
お問い合わせ先 TEL03-3583-9322 FAX03-3583-9321
ホームページhttp://www.awf.or.jp

【「がんばれNPO！」プロジェクト助成】

- 対象／市民ボランティア活動を推進及びそれらの活動を支援するNPO法人または公益法人（活動開始後1年以上経過していること）
- 対象分野／(1)高齢者及び障害者福祉の増進を図る活動
(2)環境の保全を図る活動
(3)青少年の育成を図る活動
- 対象事業の期間／平成13年度下期（13年10月～3月）
- 助成額／助成対象事業に要する支出額の80%以内、上限額200万円。
- 募集時期／5月～6月頃に応募受付予定

NPO実践講座 Vol.3

助成団体へ活動をアピールするテクニック

前号に続いて助成金を獲得するための方法を、より具体的に考えていきます。

助成団体に対して申請書類を提出する際、申請書の項目にしたがって字を埋めていくだけでは、アピール度が低いと言えます。例えば事業のネーミング一つとっても、単に「給食サービス」とするよりも「さわやか給食サービス」とか「ふれあい給食サービス」と書いた方が、書類の読み手に対するインパクトが強いと言えます。そのあたりを十分に考えて、工夫した表現を使う必要があります。

前号でも触れましたが、ビジュアルな書類を添付することも効果のある方法です。写真や自分たちの活動が紹介されている新聞記事を付けるといいでしょう。ここまでの作業が完全にできて初めて、助成を受けられる確率は50%を超えたいと思います。

次に、この確率をさらに高めるには、やはり日ごろの運営の中身、つまり活動の内容と組織化の程度が問題となってきます。

過去に特に目立った活動をしてこなかったとか、活動の内容がこの団体でも取り組まれているとか、団体の組織の形態があいまいというのでは、話になりません。

この「目立った活動」というのは、「社会が必要としている活動」と言い換えることができます。市民活動団体が活動をスタートして、

※募集要領が変更となる場合もあります。詳細は下記まで

「がんばれNPO！」プロジェクト事務局
(社)日本フィランソロピー協会内
〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7階
TEL03-3568-3241 FAX03-3568-3245

【富士フィルム・グリーンファンド FGF助成】

- 対象事業／多くの生きものたちの生活の場である緑を確保し、保全するとともに、私たちと生きものたちとのふれあいを積極的に創り出そうとする活動に対する活動助成。
自然環境の保全・活用に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質向上を目指した実証研究など。
- 助成額／総額650万円（助成件数は3件程度）
- 対象者／個人、任意団体
- 締め切り／平成13年5月21日（月）（当日消印有効）
- 申込方法／所定の申請書に記載の上、下記へ郵送。

申込 公益信託 富士フィルム・グリーンファンド
〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10
お問い合わせ先 (財)自然環境研究センター内
TEL03-5824-0969 FAX03-5824-0970

INFORMATION利用案内

- 本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要（企画書、チラシ等）を郵送、ファクシミリ等で石川県県民文化局県民交流課 NPO推進室までお送りください（その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください）。
- ファクシミリの場合は、送信後かならず着信の確認をしてください。
- 政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。
- 誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
- 掲載料は無料です。
- 送り先：石川県県民文化局県民交流課NPO推進室
TEL076-223-9113 FAX076-223-9474
担当/東または中村

市民活動の財政基盤を考える(2)

何年かが経過すると、団体を取り囲む社会の情勢や環境が変化しています。かつては、ボランティア活動の花形だった高齢者への給食サービスも、行政による社会福祉制度の中に取り込まれるようになっており、そういった時代の中で、「市民活動で給食サービスをやっていきます」というだけでは、助成を受けることは困難となってきています。

これは、どのような分野の市民活動でも共通して言えることでしょう。たえず周りの情勢や、サービスを受ける当事者のニーズを把握して活動を展開していくことが、重要なのです。

それでも、給食サービスだけで、助成を受けている団体もあります。それは、現存の社会制度では補えない特殊性や必要性、地域性があるからです。

こうした地域事情などの事由をきちんと説明でき、助成団体側に、自分たちの活動の重要性を納得させることができるようになるには、社会のニーズを摸し、そこで役立つことをしていこうという日ごろの活動の姿勢が大切なのです。

(特定) 自立生活センター ハートいしかわ [金沢市]
理事 須戸 哲 (すど さとし)

NPO推進室からのお知らせ

- 本誌は、県庁（県民交流課NPO推進室）、各地の県事務所の窓口、市町村NPO担当窓口のほか、県内普通郵便局（金沢中央、金沢南、粟崎、金石、加賀、小松、松任、羽咋、七尾、輪島、珠洲）のボランティアコーナーでお配りしています。また、石川県のホームページ（http://www.pref.ishikawa.jp/kenmin/volunteer/）でもご覧いただくことができます。できるだけ多くの方々にご愛読いただきたいと思っておりますので、関係のみなさまへの周知をお願いします。
 - 新年度早々に、NPO情報ネットワークシステム整備の一環として、県内NPO及びボランティアグループのデータベースを作成したいと考えています。各団体のみなさんには改めて文書により通知いたしますので、ご協力よろしくお願いします。
 - 「いしかわNPOニュース」やNPO・ボランティア活動に対するご意見、ご感想をお寄せください。いただいたご意見等は、本誌の企画や制作の参考とさせていただくほか、本誌に掲載してみなさんにご紹介したいと思っております。
- なお、誌面の都合上文字数は400字以内で、住所、氏名、電話番号のほか、所属しているNPO、ボランティアグループがある場合には、その名称もご記入いただき、郵便又はファクシミリでお送りください。
- また、インフォメーションコーナーの「NPO・ボランティア情報」も募集していますので、どしどしお寄せください。
- 送付先 〒920-8580 金沢市広坂2丁目1-1
石川県県民文化局県民交流課NPO推進室 FAX076-223-9474

**「NPOって何？」
「ボランティアとの違いは？」**



そんな、NPOに関する疑問・質問にお答えします。

Q 私たちの団体は、高齢者の家事援助を行うボランティアグループですが、グループの運営や活動資金に充てるために、一部のサービスを有償で提供しています。NPOは非営利の組織であると聞きましたが、私たちの団体はNPOとは言えないのでしょうか。

また、「ボランティアグループ」を名乗ることに、問題はあるのでしょうか。



A 非営利とは、一言で言えば「儲かった利益を団体の構成員に分配しない」ということです。

NPOは、活動資金として会費や寄付金を集める以外に、活動に対する対価をもらっても差し支えありませんし、活動資金の足しにするために社会貢献活動とは別に収益事業を行っても構いません。そうやって生じた利益を、団体の構成員で分配すれば株式会社のような営利目的の団体となりますが、その利益を次の活動の資金へと回していくなら、営利を目的としない団体、つまりNPOと言えるわけです。

NPOは、社会貢献活動を組織的、継続的にいきますから、活動資金を稼ぐことはむしろ当然なことと言ってよいでしょう。

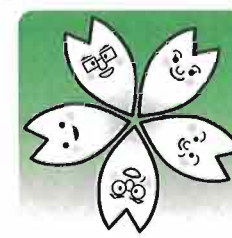
次に、「ボランティア」の考え方ですが、一般的には無償、つまり活動そのものによる金銭的対価を得ない活動と言われていました。したがって、有償の市民活動は、ボランティアではないが、非営利だと位置づけて考えていただければすっきりするのではないかと思います。

ただ、日本では「有償ボランティア」という言葉が使われる場合があるように、そのあたりはあまり明確に区別されていないのが現状で、以前はいろいろと議論があったようです。しかし、最近では、有償のスタイルが好きな人と無償のスタイルが好きな人がいるというだけの話だと考えられるようになりつつあります。大事なことは、その活動がどのような効果を示すかということであり、無償か有償かは、いわばアプローチの違いに過ぎないというように考えた方がよいでしょう。

※NPOやボランティアに関するご質問を郵送・FAXにてお寄せください。内容によっては、専門家からも回答をいただきます。

編集後記

この春季号からページ数が8ページとなりました。少ないページの中でNPOやボランティアのみなさんのお役に立つ情報をどのように提供していただけるか、企画会議では議論百出。結局、読者のみなさんのご意見等を参考に回を重ねながら進化させるということで決着となりました。是非、ご意見をお寄せください。



**石川県県民文化局
県民交流課NPO推進室**

〒920-8580 金沢市広坂2丁目1-1
TEL076(223)9113 FAX076(223)9474
URL http://www.pref.ishikawa.jp/kenmin/volunteer/